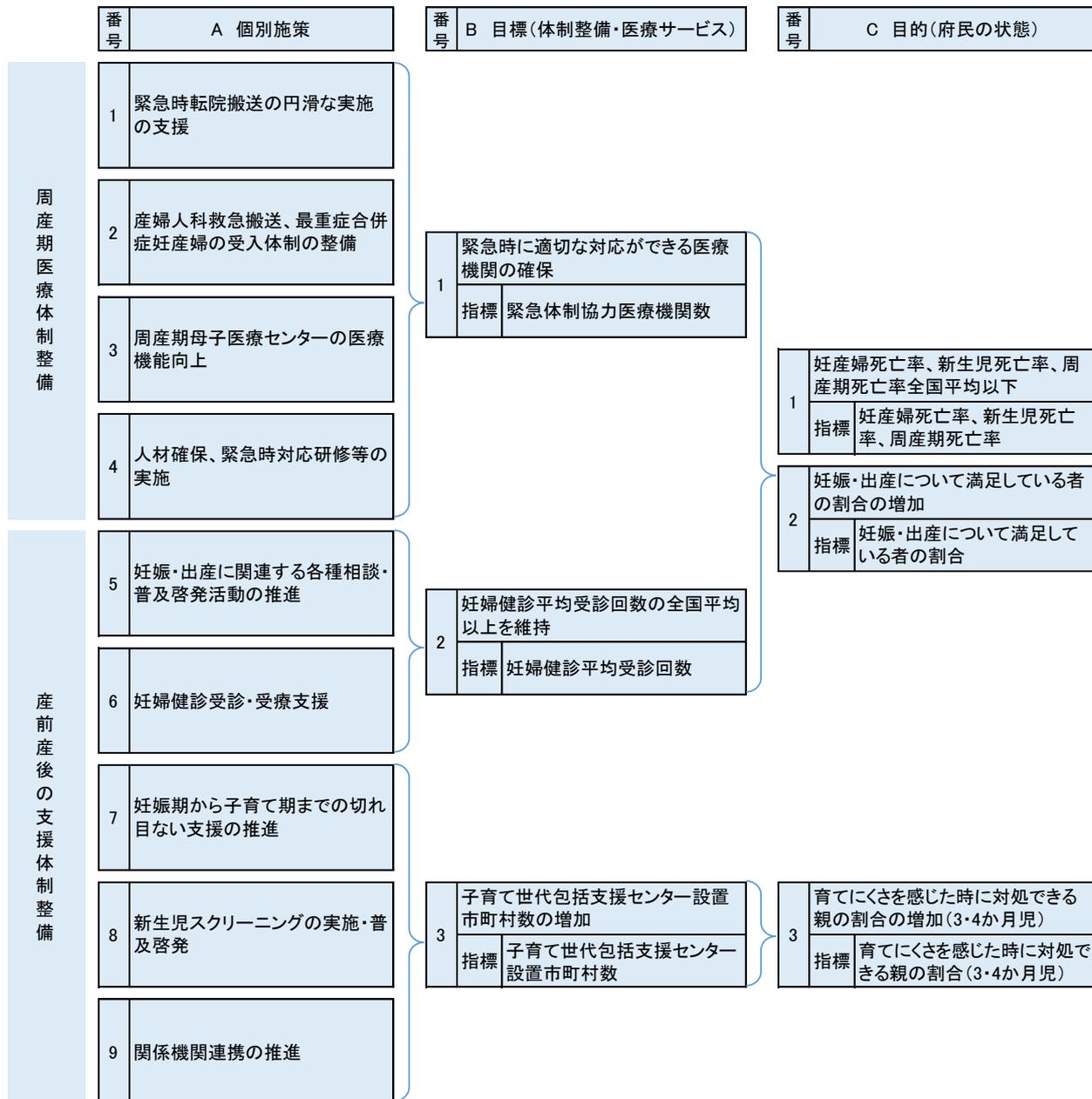


施策・指標マップ



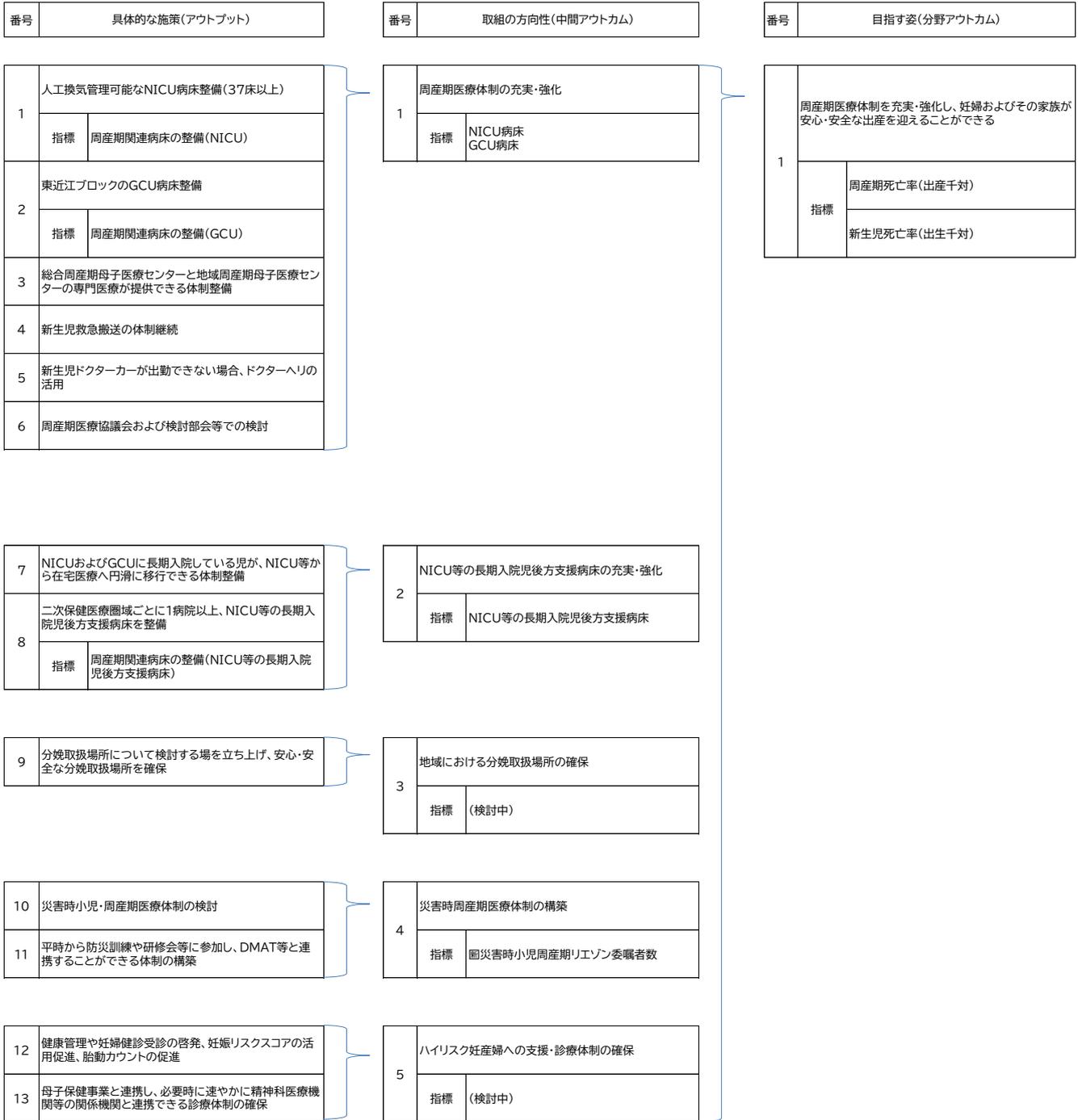
目標値一覧

分類 B:目標 C:目的	指標	対象年齢	現 状		目標値	
			値	出典	2020年度 (中間年)	2023年度 (最終年)
B	緊急体制協力医療機関数	—	37医療機関 (平成28年度)	大阪府「地域保健課調べ」	維持	維持
B	妊婦健診平均受診回数	—	10.3回 (全国9.8回) (平成27年)	厚生労働省 「地域保健・健康増進事業報告」	全国平均以上	全国平均以上
B	子育て世代包括支援センター設置市町村数	—	29市町村 (平成29年度)	大阪府「地域保健課調べ」	43市町村	43市町村
C	妊産婦死亡率	—	5.7 (全国3.4) (平成28年)	厚生労働省 「人口動態統計」	—	全国平均以下
C	新生児死亡率	—	0.7 (全国0.9) (平成28年)	厚生労働省 「人口動態統計」	—	全国平均以下
C	周産期死亡率	—	3.5 (全国3.6) (平成28年)	厚生労働省 「人口動態統計」	—	全国平均以下
C	妊娠・出産について満足している者の割合	—	73.7% (平成27年度)	厚生労働省 「健やか親子21」	—	85%
C	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 (3・4か月児)	—	77.7% (平成27年度)	厚生労働省 「健やか親子21」	—	95%

《数値目標》

目標項目		基準値	現状値	目標値(R5)	備考
目指す姿（分野アウトカム）					
母子保健指標 の改善	周産期死亡率 （出産千対）	3.8（H24～ H28の平均値）	県 3.54 全国 3.5 （H27～R1平均値）	H29～R4の平均値が全 国平均より低い	評価指標が平均値の比 較であることから、分 野アウトカムとしての 評価は困難。数値評価 は最終年度に行う。
	新生児死亡率* （出生千対）	1.0（H24～ H28の平均値）	県 0.86 全国 0.9 （H27～R1平均値）	H29～R4の平均値が全 国平均より低い	
取組の方向性（中間アウトカム）					
災害時 周産期医療 体制の構築	災害時小児 周産期リエゾン 委嘱者数	—	12名	15名	新規追加
具体的な施策（アウトプット）					
周産期関連 病床の整備	NICU病床 （ただし人工換気 管理可能な病床）	32床（H29）	39床	現状維持	
	GCU病床	46床（H29）	51床	地域周産期母子医療 センターに増床	
	NICU等の 長期入院児 後方支援病床	3/7圏域 （H29）	3/7圏域 （10床）	各二次保健医療圏域に 1か所以上整備	8床（H29）

ロジックモデル



周産期医療

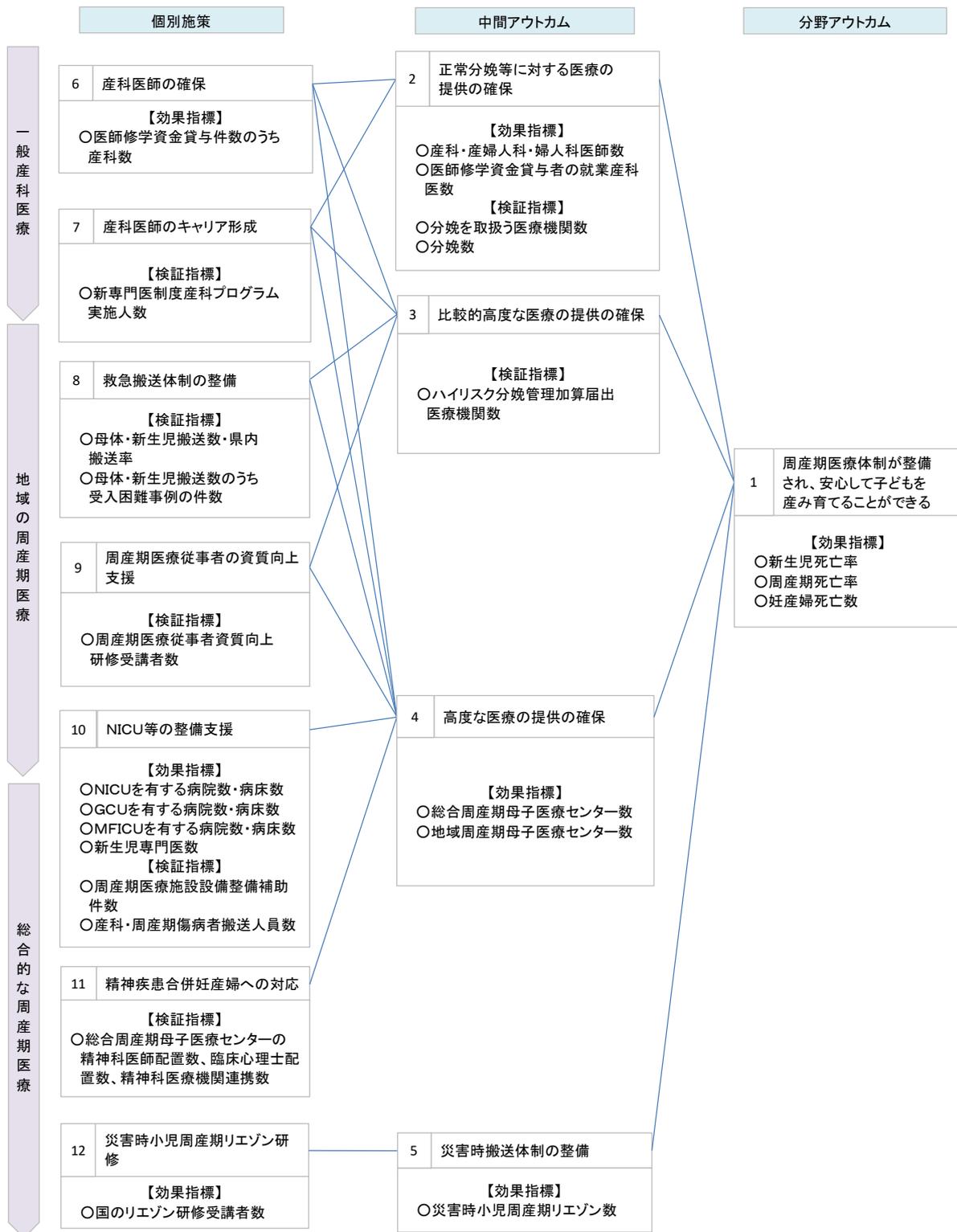
機能	施策	施策効果	(最終)目的
正常分娩	1 地域周産期母子医療センター等の医療機関や消防機関との連絡体制の充実、連携強化 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ リスクの低い帝王切開術に対応するための連携状況 → オープンシステム・セミオープンシステムへの参加状況 →	18 合併症や、帝王切開術その他の手術への適切な対応 再掲 <input type="checkbox"/> 出生率 ↑ 合計特殊出生率 ↑ 低出生体重児出生率 ↓ 関連データ 分娩数(帝王切開件数を含む。) ↑ 正常分娩数 ↑ 産後訪問指導を受けた割合 ↑	
	2 医療従事者への効果的な症例検討会の開催や研修等の実施 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 検討会・研修会の開催状況 →		
	3 災害時の周産期医療体制維持のための体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 周産期救急情報システム(大規模災害対策情報システム)への登録状況 ↑		
	4 妊産婦のメンタルヘルスへの対応 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ メンタルヘルスが必要な妊産婦の把握状況 ↑ 精神科等との連携体制の状況 ↑		
地域周産期母子医療センター	5 質の高い医療を提供するための体制の維持 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ MFICU、NICU、GCUの病床数 → 新生児搬送用救急車の整備状況 →	19 周産期に係る比較的高度な医療行為の実施、24時間体制での周産期救急医療(緊急) 再掲 <input type="checkbox"/> 出生率 ↑ 合計特殊出生率 ↑ 関連データ 低出生体重児出生率 ↓ 分娩数(帝王切開件数を含む。) ↑ NICU入室児数 ↓	22 安心して産み育てられる周産期医療体制の構築 新生児死亡率 ↓ 周産期死亡率 ↓ 関連データ 妊産婦死亡率 ↓ 死産率 ↓
	6 地域周産期医療関連施設等からの救急搬送や総合周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関からの搬送受入状況 → 他の医療機関との医療機器共同利用状況 ↑ 他の医療施設との合同症例検討会の開催 ↑		
	7 医療従事者への効果的な症例検討会の開催や研修等の実施 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 検討会・研修会の開催状況 →		
	8 妊産婦のメンタルヘルスへの対応 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ メンタルヘルスが必要な妊産婦の把握状況 ↑ 精神科等との連携体制の状況 ↑		
	9 災害時の周産期医療体制維持のための体制整備 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 周産期救急情報システム(大規模災害対策情報システム)への登録状況 ↑		
総合周産期母子医療センター	10 質の高い医療を提供するための体制の維持 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ MFICU、NICU、GCUの病床数 → 新生児搬送用救急車の整備状況 →	20 リスクの高い妊婦に対する医療、高度な新生児医療等を行う、産科合併症以外の合併症を有する母体への対応 再掲 <input type="checkbox"/> 出生率 ↑ 合計特殊出生率 ↑ 関連データ 低出生体重児出生率 ↓ 分娩数(帝王切開件数を含む。) ↑ NICU入室児数 ↓	
	11 地域周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携体制の強化 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関からの搬送受入状況 → 他の医療機関との医療機器共同利用状況 ↑ 他の医療施設との合同症例検討会の開催 ↑		
	12 医療従事者への効果的な症例検討会の開催や研修等の実施 再掲 <input checked="" type="checkbox"/> 関連データ 検討会・研修会の開催状況 →		
	13 精神疾患を合併する妊産婦への対応可能な体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関からの紹介状況 ↑ 精神科等との連携体制の状況 ↑		
療養・療育支援	14 災害時の周産期医療体制維持のための体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 災害時小児周産期リエゾン研修受講者数 ↑ 周産期救急情報システム(大規模災害対策情報システム)への登録状況 ↑	21 周産期医療関連施設を退院した障がい児等が生活の場で療養・療育できる体制の提供 再掲 <input type="checkbox"/> 小児在宅人工呼吸指導管理料算定回数 ↑ 関連データ 障害児入所施設在所者数 ↑	
	15 退院可能な小児が在宅で療養できるよう支援体制の整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ NICU入院児支援コーディネーター数 ↑		
	16 児の急変時の救急対応可能な病院等との連携 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 救急対応可能な病院等との事前の連携状況 ↑		
17 周産期医療関連施設等と連携し、療養・療育が必要な児の情報(診療情報や治療計画)の共有の状況 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関との診療情報や治療計画の共有の状況 ↑			

周産期医療

機能	施策	施策効果	(最終) 目的
正常分娩	1 地域周産期母子医療センター等の医療機関や消防機関との連絡体制の充実、連携強化 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ リスクの低い帝王切開術に対応するための連携状況 → オープンシステム・セミオープンシステムへの参加状況 →	18 合併症や、帝王切開術その他の手術への適切な対応 再掲 <input type="checkbox"/> 出生率 ↑ 合計特殊出生率 ↑ 低出生体重児出生率 ↓ 分娩数(帝王切開件数を含む。) ↑ 正常分娩数 ↑ 産後訪問指導を受けた割合 ↑	
	2 医療従事者への効果的な症例検討会の開催や研修等の実施 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 検討会・研修会の開催状況 →		
	3 災害時の周産期医療体制維持のための体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 周産期救急情報システム(大規模災害対策情報システム)への登録状況 ↑		
	4 妊産婦のメンタルヘルスへの対応 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ メンタルヘルスが必要な妊産婦の把握状況 ↑ 精神科等との連携体制の状況 ↑ ハイリスク妊産婦連携指導料届出状況 ↑		
地域周産期母子医療センター	5 質の高い医療を提供するための体制の維持 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ MFICU、NICU、GCUの病床数 → 新生児搬送用救急車の整備状況 →	19 周産期に係る比較的高度な医療行為の実施、24時間体制での周産期救急医療(緊急帝王切開術、その他緊急手術を含む。)への対応 再掲 <input type="checkbox"/> 出生率 ↑ 合計特殊出生率 ↑ 低出生体重児出生率 ↓ 分娩数(帝王切開件数を含む。) ↑ NICU入室児数 ↓	22 安心して産み育てられる周産期医療体制の構築 関連データ 新生児死亡率 ↓ 周産期死亡率 ↓ 妊産婦死亡率 ↓ 死産率 ↓
	6 地域周産期医療関連施設等からの救急搬送や総合周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関からの搬送受入状況 → 他の医療機関との医療機器共同利用状況 ↑ 他の医療施設との合同症例検討会の開催 ↑		
	7 医療従事者への効果的な症例検討会の開催や研修等の実施 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 検討会・研修会の開催状況 →		
	8 妊産婦のメンタルヘルスへの対応 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ メンタルヘルスが必要な妊産婦の把握状況 ↑ 精神科等との連携体制の状況 ↑ ハイリスク妊産婦連携指導料届出状況 ↑		
	9 災害時の周産期医療体制維持のための体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 周産期救急情報システム(大規模災害対策情報システム)への登録状況 ↑ 災害時小児周産期リエゾン任命者数 →		
総合周産期母子医療センター	10 質の高い医療を提供するための体制の維持 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ MFICU、NICU、GCUの病床数 → 新生児搬送用救急車の整備状況 →	20 リスクの高い妊婦に対する医療、高度な新生児医療等を行う、産科合併症以外の合併症を有する母体への対応 再掲 <input type="checkbox"/> 出生率 ↑ 合計特殊出生率 ↑ 低出生体重児出生率 ↓ 分娩数(帝王切開件数を含む。) ↑ NICU入室児数 ↓	
	11 地域周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携体制の強化 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関からの搬送受入状況 → 他の医療機関との医療機器共同利用状況 ↑ 他の医療施設との合同症例検討会の開催 ↑		
	12 医療従事者への効果的な症例検討会の開催や研修等の実施 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 検討会・研修会の開催状況 →		
	13 精神疾患を合併する妊産婦への対応可能な体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関からの紹介状況 ↑ 精神科等との連携体制の状況 ↑ ハイリスク妊産婦連携指導料届出状況 ↑		
療養・療育支援	14 災害時の周産期医療体制維持のための体制整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 周産期救急情報システム(大規模災害対策情報システム)への登録状況 ↑ 災害時小児周産期リエゾン任命者数 →	21 周産期医療関連施設を退院した障がい児等が生活の場で療養・療育できる体制の提供 再掲 <input type="checkbox"/> 小児在宅人工呼吸指導管理料算定回数 ↑ 障害児入所施設在所者数 ↑	
	15 退院可能な小児が在宅で療養できるよう支援体制の整備 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ NICU入院児支援コーディネーター数 ↑		
	16 児の急変時の救急対応可能な病院等との連携 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 救急対応可能な病院等との事前の連携状況 ↑		
	17 周産期医療関連施設等と連携し、療養・療育が必要な児の情報(診療情報や治療計画等)の共有 再掲 <input type="checkbox"/> 関連データ 他の医療機関との診療情報や治療計画の共有の状況 ↑		

・再掲している施策等は、再掲欄の✓で表示
・関連データの矢印は、当該データの方向性を示す

施策体系表



数値目標

【分野アウトカム】

指標		現状	目標
1	新生児死亡率（出生千対） （人口動態調査）	0.6 【全国】0.9 （低い方から5位） （2016年）	全国順位低い方 から5位以内 （2023年）
	周産期死亡率（出産千対） （人口動態調査）	2.5 【全国】3.6 （低い方から2位） （2016年）	全国順位低い方 から5位以内 （2023年）
	妊産婦死亡数 （人口動態調査）	1 （2016年）	0 （毎年度）

【中間アウトカム】

指標		現状	目標
2	出生児 1,000 人当たり産科・産婦人科・婦人科医師数 （医師・歯科医師・薬剤師調査）	9.7 人 【全国】11.6 （2016年）	H30 以降の医師 確保対策と合わ せて設定
	医師修学資金貸与者の就業産科医数 （県調査）	11 人 （2016年）	21 人 （2023年）
	分娩を取扱う医療機関数 （医療施設調査）	県全体 26 中部 11、東部 2、 北部 3、西部 4、 南部 6 （2014年）	-
	15～49 歳女性 10 万人当たり分娩数 （医療施設調査）	412.3 【全国】345.7 （2014年）	-
3	15～49 歳女性 10 万人当たりハイリスク分娩管理加 算届出医療機関数（診療報酬施設基準）	9.2 （2015年）	-
4	総合周産期母子医療センター数 （県調査）	1 （2017年）	1 （2023年）
	地域周産期母子医療センター数 （県調査）	2 （2017年）	4 （2023年）
5	災害時小児周産期リエゾン数 （県調査）	0 人 （2017年）	24 人 （2023年）

【個別施策】

	指標	現状	目標
6	医師修学資金貸与件数のうち産科数 (県調査)	14 (2016年)	21 (2023年)
7	新専門医制度産科プログラム実施人数 (県調査)	- 2018年～	-
8	人口10万人当たり母体・新生児搬送数・県内搬送率 (消防庁調査)	238.7 (2014年)	-
	人口10万人当たり母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数 (医療機関に受入の照会を行った回数が4回以上の件数) (消防庁調査)	0.6 (2015年)	-
	人口10万人当たり母体・新生児搬送数のうち受入困難事例の件数 (現場滞在時間が30分以上の件数) (消防庁調査)	0.6 (2015年)	-
9	周産期医療従事者資質向上研修受講者数 (県調査)	55人 (2017年)	-
10	NICUを有する病院数・病床数 (医療施設調査・県調査)	4病院、26床 (2016年)	現状維持 (2023年)
	GCUを有する病院数・病床数 (医療施設調査・県調査)	1病院、18床 (2016年)	2病院、24床 (2023年)
	MFICUを有する病院数・病床数 (医療施設調査・県調査)	1病院、6床 (2016年)	現状維持 (2023年)
	新生児専門医数 (新生児医学会)	3人 (2016年)	6人 (2023年)
	周産期医療施設設備整備補助件数 (県調査)	1件 (2017年)	-
	産科・周産期傷病者搬送人員数 (消防庁調査)	280人 (2015年)	-
11	総合周産期母子医療センターの精神科医師配置数、臨床心理士配置数、精神科医療機関連携数 (周産期体制調)	精神科医師 0 非常勤 週1回 臨床心理士 2 連携数 2 (2016年)	-
12	国の災害時小児周産期リエゾン研修受講者数 (県調査)	5人 (2017年)	24人 (2023年)

指標の下段の()内は、出典元となる調査名

周産期医療(周産期医療)分野 施策・指標体系図



周産期医療(在宅療育・療養環境整備)分野 施策・指標体系図

番号	C 個別施策
----	--------

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

1	周産期母子医療センターにおける在宅移行支援の体制整備
	指標1 在宅支援サービスの情報が網羅された県のHPがある。
	指標2 退院支援コーディネーター数
2	在宅移行支援病床を持つ中間施設の設置検討体制整備
	指標1 検討会の開催回数
3	全県的な入退院コーディネートチーム設置(再掲)
	指標1 コーディネートチームの配置及び連携回数

NICUから円滑に退院できる環境整備	
1	指標1 退院支援プログラムがある周産期母子医療センター数
	指標2 在宅移行支援病床を持つ中間施設数

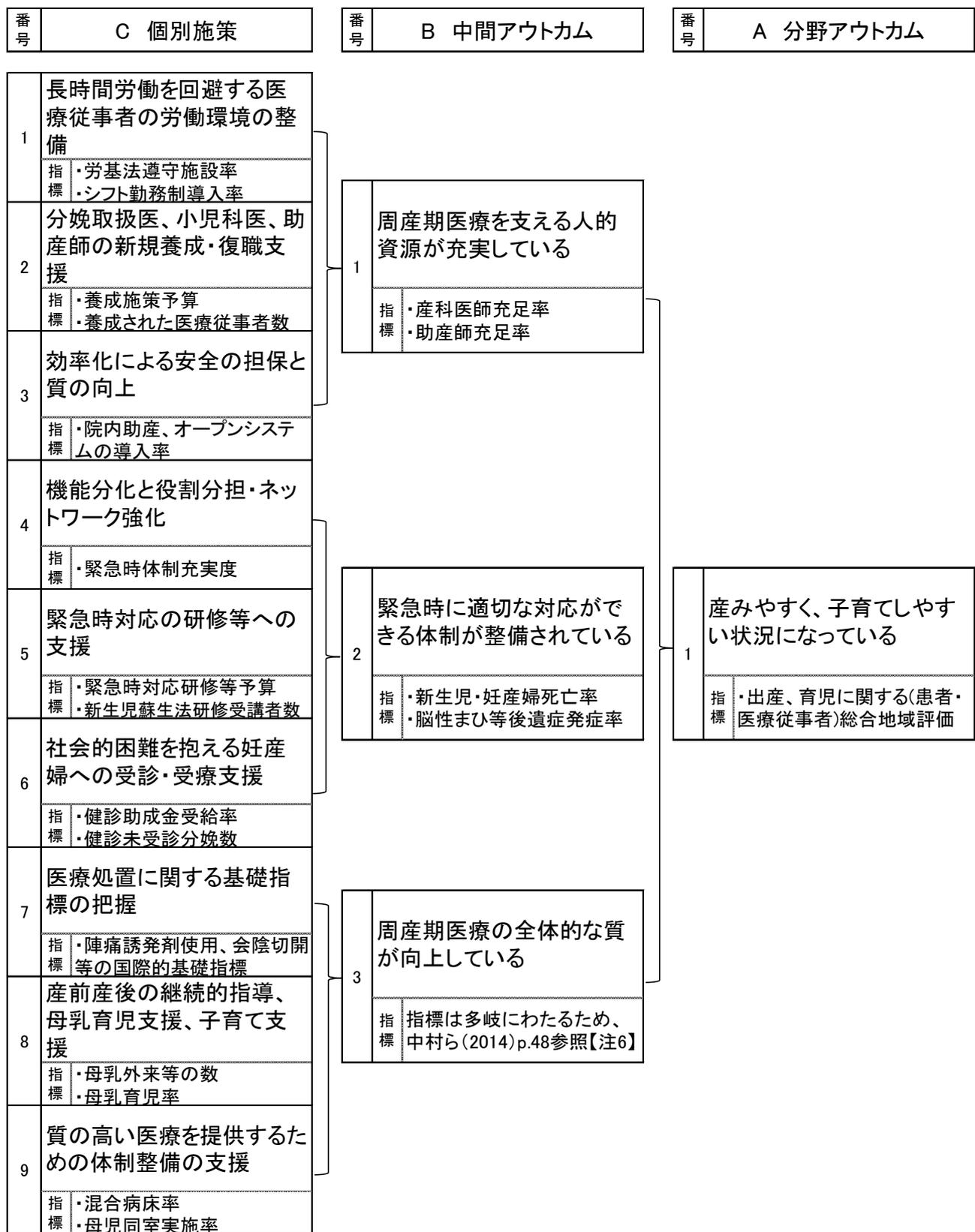
1	医療体制の整備
	指標1 医療的ケアが必要な児に対応できる救急病院数
	指標2 圏域毎に小児に対応している訪問看護ステーション数
2	保護者の利用しやすい在宅児童福祉サービスの構築
	指標1 医療的ケアを必要とする児に対応できる相談支援事業所数
	指標2 医療的ケアを必要とする児に対応できるレスパイト施設
3	医療・福祉・保健サービスを要する医療的ケア児を結ぶ母子保健体制整備
	指標1 医療的ケアを要する小児慢性特定疾病児を全数把握している保健所数
	指標2 医療的ケアを要する児を全数把握している市町村数
4	医療・福祉・保健の連携によるサービスの実施
	指標1 医療・福祉・保健に関する相談が1ヶ所のできる市町村
5	災害時の対応整備
	指標1 災害時要援護者として医療的ケアが必要な児を把握している市町村数

安心して在宅療育・療養生活を継続できる環境整備	
1	在宅で療育・療養が継続できる医療体制の整備
	指標1 緊急時にどこへ受診すればよいか知っている保護者の割合
2	在宅で療育・療養生活が継続できる福祉体制の整備
	指標2 相談先を知っている保護者の割合
3	在宅で療育・療養生活が継続できる母子保健体制の整備
	指標1 医療的ケアを要する小児慢性特定疾病児の支援率
	指標2 医療的ケアを要する児の支援率
4	地域で児や家族が安全に安心して生活できる環境整備
	指標1 医療的ケアを要する児を災害時の要援護者リストに載せている市町村数

乳児の状態に応じた療育・療養環境が整備されている	
1	指標1 1年以上の社会的要因によるNICU入院児数
	指標2 半年以上の社会的要因によるNICU入院児数
	指標3 訪問看護利用者の利用者数
	指標4 災害時に医療的ケア児の対応が決まっている市町村数

7. 施策と指標のマップ

図表3 周産期分野の施策と指標のマップ



8. 指標リスト（定義と説明）

□1 趣旨

下記は「あるべき姿と推奨施策」「施策と指標のマップ」における指標の説明である。

図表 4 周産期 指標リスト

	指標名	指標の定義	備考
A1	・出産、育児に関する患者・医療従事者による総合地域評価	患者(家族)調査と医療従事者調査を基にした、専門家による評価(米・英国を参考とする)	(O) 要開発
B1	・産科医充足率 ・助産師充足率	・医療圏ごとの産科医師数、助産師数の分娩件数又は新生児数に対する割合	(O) 要開発
B2	・新生児・妊産婦死亡率 ・脳性まひ等後遺症発症率	・全分娩数に対する新生児・妊産婦死亡の割合 ・全分娩数に対する脳性まひ等の発症割合	(O)* 人口動態統計 (O) 要開発
B3	※指標は多岐にわたるため、中村ら(2014)の p.48 を参照【注 6】		
C1	・労基法遵守施設率 ・シフト勤務制導入率	・労基法遵守している周産期施設の割合 ・シフト勤務運用中の周産期施設の割合	(S) 要開発 (S) 要開発
C2	・養成施策予算 ・養成された医療従事者数 ・復職支援施策予算 ・就労復帰した医療従事者数	・奨学金や後期研修医給与補助制度など医師、助産師の養成に関わる予算額 ・分娩取扱医、小児科医、助産師増加数 ・医師、助産師の復職支援研修制度、院内保育園など復職支援に関わる予算額 ・就労復帰した分娩取扱医、小児科医、助産師数の数	(S) 要開発 (O) 要開発 (S) 要開発 (O) 要開発
C3	・医療資源の量的把握 ・人員の地域定着率	・都道府県が域内の周産期に関わる人員および医療施設を把握している度合い ・産科医、小児科医、助産師等、周産期に関わる人員の県内定着年数の平均。	(S)* 医療計画 (S) 要開発
C4	・緊急時体制充実度	・搬送コーディネーターの数、高機能救急車整備台数、低体温療法のカバー率、搬送先決定までの平均時間	(P) 要開発
C5	・緊急時対応研修等予算 ・新生児蘇生法研修受講者数	・新生児蘇生法など、緊急時対応の研修支援等に関わる予算額 ・新生児蘇生法教育を受講、継続学習している医師、助産師、看護師の人数	(S) 要開発 (S) 要開発
C6	・健診助成金受給率 ・健診未受診分娩数	・健診助成対象者の受給者の割合 ・健診未受診で分娩した妊産婦の数	(S) 要開発 (S) 要開発
C7	・陣痛誘発剤使用、会陰切開等の国際的基礎指標	・自然分娩率、鉗子・吸引分娩率、帝王切開率、会陰切開率、陣痛誘発・促進剤使用率といった医療介入の基礎指標	(P) * 医療施設(動態)調査・病院報告、一部要開発
C8	・助産師外来等の数 ・産前産後家庭訪問率 ・母乳外来等の数 ・母乳育児率	・院内助産所、助産師外来、産後院、子育て支援員の数 ・産前産後の保健師、助産師による全分娩数に対する訪問の割合 ・母乳外来等の施設数 ・全新生児中で母乳育児をしている割合	(S) 要開発 (P) 要開発 (S) 要開発 (O) 要開発
C9	・混合病床率 ・母児同室実施率	・分娩施設病床数に占める混合病床数の割合、ユニットマネジメント実施率 ・早期母児同室を実施できる施設の割合	(S) 要開発 (P) 要開発

(S) : ストラクチャー指標、(P) : プロセス指標、(O) : アウトカム指標、* : 既存指標